

令和5年度 群馬県立高崎女子高等学校経営方針

令和5年4月5日（水）

1 校訓

向学叡智・清楚品位・明朗闊達

2 教育方針

- (1) 常に真摯に学びに向かい、高い知性を持ち、自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成する。
- (2) 飾り気がなく、清らかで気品にあふれる生徒を育成する。
- (3) 明るく前向きで心が広い生徒を育成する。
- (4) グローバル社会でリーダーとして活躍できる生徒を育成する。

3 今年度の重点目標

- (1) 高い進路実現を達成するための、三年間を見通した進路指導の充実
 - ・ 難関大学合格を実現するための組織的な進路サポート体制を確立する。
 - ・ 「椎樹プラン」を体系的に位置付け、活用し、生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばす。
 - ・ 総合型選抜など、新しい入試制度に対応した進路指導を充実させる。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業の推進
 - ・ ICTを積極的に活用するとともに、生徒同士の対話や発表を重視した授業を推進する。
 - ・ 生徒による振り返りや観点別評価を重視した授業を推進する。
 - ・ 自ら課題を設定し、互いに協力しながら課題を解決する探究学習を推進する。
- (3) 「社会に開かれた教育課程」の充実
 - ・ 学校での学びを学校内だけに閉じず、外部の教育力を積極的に活用し、社会との接点を充実させる。
 - ・ 学校公開・学校評議員会・学校評価等を活用し情報収集に努める。
 - ・ Web ページ・学校説明会・各種通信等により情報発信に努める。
- (4) 「カリキュラム・マネジメント」の充実
 - ・ 将来構想委員会や教員研修等を活用し、すべての教職員で学校の教育活動を定期的に見直す。
 - ・ スクールミッションやスクールポリシー、育てたい資質・能力、グランドデザイン等を検討・作成し、これらに基づいた教育活動を推進する。
- (5) 生徒指導の充実
 - ・ 「清楚品位」を重んじ、規範意識を醸成する。
 - ・ 教育相談部やスクールカウンセラーと連携し、組織的なきめ細かい指導に努める。
- (6) 部活動の推進
 - ・ 勉学と部活動の両立を支援し、たくましく生きる力を育成する。
 - ・ 適切な休養日を設け、心と体の健康を図る。
- (7) 安全教育の徹底
 - ・ 交通マナーや規則を遵守させ、事故の未然防止に努める。
 - ・ 施設の点検・環境整備に努め、安全な学校環境を整備する。
- (8) グローバル教育の充実
 - ・ 海外研修や国際交流を推進し、グローバル社会に対応した国際感覚豊かな人材を育成する。
- (9) SAH (Student Agency High school) 指定校の推進【県新規事業】
 - ・ 生徒の主体性を尊重し、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指す。

※ 今年度より、本校と前橋南高校が、県教育委員会から「SAH」の指定校を受けることになった。

※ Agency とは、「自分で目標を設定し、責任をもって行動する様子」を表し、「SAH」は、「自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成」を目指すものである。

※ 重視する視点は、「学習者主体の視点」と「働き方改革の視点」である。

※ 先進的な取組を進めている神奈川県の横浜創英中学・高等学校（工藤勇一校長）との連携予定である。